



—主な内容—

- 「市制施行」連載第9回……………2
- 高齢者福祉計画・介護保険事業計画
素案への意見を募集……………3
- 特集 所得税・住民税の申告……………6
- まちのニュース……………10~12

※[]=問合せ先 []=申込み先

●発行/大網白里町 ●編集/秘書広報課 ●毎月1日発行 〒299-3292 千葉県山武郡大網白里町大網115番地の2 総合案内電話 ☎0475(70)0300 (総務課)



▶生ごみたい肥化装置を体験する子どもたち(第二保育所)

生ごみだって リサイクルできるよ!

捨てれば「ごみ」 生かせば「資源」

各家庭から排出され、処理されている「ごみ」。環境への配慮や処理コストの面から、「ごみの減量化」が叫ばれています。

「ごみとして捨てられているものの中には、実は、リサイクルできるものが多く含まれています。二面倒だから」と分別せず捨てることは、地球上の限りある「資源」を捨てることと同じ。リサイクルできるものは、分別し、リサイクルすることで、ごみを減らすことができます。また、レジ袋を使わず、マイバックを使用するなど、そもそもごみを排出しないようにする工夫もあります。すぐにできることから、ごみの減量に取り組んでみませんか。

あなたにもできる ごみ減量化の5カ条

- その1 「私もやらなければ」との心構えを
- その2 日々コツコツと
- その3 すぐごみになるものは買わない
- その4 使えるものは最後まで
- その5 処分の仕方を考える

日常生活でまったくごみを出さないことは無理ですが、ごみを減らすことは日々の工夫で行えます。

ごみの減量化には、一人一人の小さな積み重ねが不可欠。毎日少しずつでも心掛け、ごみを減らすように努めましょう。

大網白里町をはじめ、東金市・山武市(旧成東町)・九十九里町の各家庭から排出されるごみは、東金市外三市町清掃組合(環境クリーンセンター)に搬入し、処理されています。処理には多くの費用が掛かっています。また、ごみの量が増えれば、施設の処理能力を超え、いずれは、処理しきれなくなってしまう。

また、ごみ処理にかかった経費は6億4,845万5千円。1人当たりに換算すると、年間12,630円かかったこととなります。

本町のごみ事情

本町の平成22年度ごみ排出量は14,662トン。これは、町民1人1日当たり、782グラムのごみを排出したことになります。

ごみの減量大作戦!

リサイクルは環境や資源を守るうえで、とても重要です。しかし、リサイクルはごみを減らす手段の1つ。ほかにも、ごみを減量する工夫はたくさんあります。

ごみ処理にかかる経費

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
ごみ処理経費	659,832,398 円	637,498,716 円	648,455,300 円
ごみ排出量	15,472,360 kg	15,712,830 kg	14,662,330 kg
ごみ1kg当たりの経費	42.65 円	40.57 円	44.23 円
人口(10月1日現在)	51,038 人	51,195 人	51,342 人
1人当たりの排出量	303.2 kg	306.9 kg	285.6 kg
1人1日当たりの排出量	831 g	841 g	782 g
1人当たりの経費	12,928 円	12,452 円	12,630 円

※人口は常住人口(住民基本台帳人口+外国人登録人口)
 ※ごみ処理経費の多くを占める清掃組合負担金は、構成市町(東金市、大網白里町、九十九里町、山武市「旧成東町」)の2年前のごみ搬入量割合等を基に算出されています

平成22年度収集形態別の環境クリーンセンター搬入状況

	市町分	事業系搬入	個人直接搬入	合計	前年度合計
可燃ごみ	11,045,130	2,210,200	4,170	13,259,500	14,230,890
粗大ごみ	136,880	760	249,070	386,710	384,050
金属類	157,600	0	0	157,600	181,890
ビン・ガラス類	500,710	0	0	500,710	529,210
カン	178,570	0	0	178,570	200,130
蛍光灯類	10,370	0	0	10,370	13,280
ペットボトル	168,870	0	0	168,870	173,380
合計	12,198,130	2,210,960	253,240	14,662,330	15,712,830

※市町分は、町直接搬入と委託業者による搬入の合計
 ※事業系搬入は、可燃ごみ、一部粗大ごみのみ

①ごみの排出を意識した買い物

詰め替え商品やリサイクル製品をできるだけ使用し、無駄なものや、すぐごみになる物を買わないように心がけましょう。

②マイバックを有効利用

買い物の際に当たり前のように、商品を入れてもらっているレジ袋。このレジ袋をもらわずに、マイバックを使用することで、大きなごみの減量につながります。

また、レジ袋の原料となつている原油を無駄に使わずに済みます。

また、新聞・雑誌・ダンボールなどは、町のリサイクル倉庫や資源再生利用促進事業を活用しましょう。

☎(70)0386

問生活環境課環境対策班